

4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行

(1) 公刊した報告書等

報告書名	発行年月	備考
平成28年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告	平成30年6月	
平成29年度イカ類漁場開発調査資料第43号及び外洋性イカ(スルメイカ、アカイカ)に関する基礎調査資料	平成30年7月	
平成29年度地方独立行政法人青森県産業技術センター水産部門事業概要年報	平成30年7月	
平成29年度漁海況予報関係事業結果報告書 定線観測結果表	平成30年9月	
平成30年度浅海定線調査結果報告書	平成31年1月	

(2) 提供情報

情報名	期間及び回数
ウオダス漁海況速報 No.1982～2017	平成30年4月～平成31年3月 (36回、号外35回)
陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ稚仔分布調査結果について	平成31年3月(1回)
陸奥湾海況情報 No.1183～1233	平成30年4月～平成31年3月(51回)
ホタテガイ採苗速報 No.660～678	平成30年4月～平成31年3月(19回)
貝毒発生状況等速報	平成30年4月～平成31年3月(33回)
陸奥湾の水温(東奥日報紙)	平成30年4月～平成31年3月(毎日)
陸奥湾湾口海域のイカナゴ幼魚(コウナゴ)分布調査結果について	平成30年7月(1回)
ホタテガイ養殖管理情報	平成30年4月～平成31年3月(7回)
平成30年ヒラメ稚魚分布密度調査結果について	平成30年9月(太平洋、日本海各1回)
イカナゴ類夏眠場調査について	平成30年12月
平成30年漁期のハタハタ漁獲対象資源量の予測結果	平成30年9月,11月(2回)
付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報	平成30年10月～平成31年3月(12回)
2018年漁期におけるヤリイカ冬季来遊群の漁況予測結果	平成30年12月(1回)

(3) 青森県水産研究情報 水と漁

発行番号	発行年月
第28号	平成30年7月
第29号	平成30年12月
第30号	平成31年3月

(4) 発表論文等

①学会等での発表

- 1) 浅井咲樹・宮本佳則・内田圭一・吉田達・森恭子・笹倉豊喜：ICT と超音波テレメトリーを用いたホタテガイ養殖モニタリングシステムの開発. 日本水産工学学術講演会. (2018. 5)
- 2) 籠橋重樹・工藤勲・小谷健二・吉田達：陸奥湾での貧栄養化が植物プランクトンの生産に与える影響について. 日本プランクトン学会日本ベントス学会合同大会. (2018. 9)
- 3) 杉浦大介：陸奥湾におけるアサリの成熟サイズと卵径. 日本水産学会東北支部大会. (2018. 10)
- 4) 遊佐貴志：陸奥湾におけるマナマコの成長・成熟. 日本水産学会東北支部大会. (2018. 10)
- 5) 小泉慎太郎：10年後を見据えた持続可能なホタテガイ養殖生産方法の検討. 東北ブロック水産業関係研究開発推進会議資源生産部会増養殖分科会. (2018. 11)

②その他の投稿

- 1) Goh Nishitani, Yuki Kosaka, Satoshi Nagai, Yoshihito Takano, Young-Ok Kim and Akira Ishikawa : An effective method for detecting prey DNA from marine dinoflagellates belonging to the genera *Dinophysis* and *Phalacroma* using a combination of PCR and restriction digestion techniques. *Plankton Benthos Res* 13(2) 90-94 2018. (2018. 5)
- 2) Daisuke Sugiura, Koichi Sasaki : Predation on bivalves on a sandy beach in Soma, Japan. *Journal of Shellfish Research*, 37(3), 625-634. (2018. 8)
- 3) Hajime Uchida, Ryuichi Watanabe, Ryoji Matsushima, Hiroshi Oikawa, Satoshi Nagai, Takashi Kamiyama, Katsuhisa Baba, Akira Miyazono, Yuki Kosaka, Shinnosuke Kaga, Yukihiro Matsuyama and Toshiyuki Suzuki, Toxin Profiles of Okadaic Acid Analogues and Other Lipophilic Toxins in *Dinophysis* from Japanese Coastal Waters. *Toxins* 2018, 10, 457. (2018. 10)
- 4) Ryoji Matsushima, Hajime Uchida, Ryuichi Watanabe, Hiroshi Oikawa, Izumi Oogida, Yuki Kosaka, Makoto Kanamori, Tatsuro Akamine and Toshiyuki Suzuki : Anatomical Distribution of Diarrhetic Shellfish Toxins (DSTs) in the Japanese Scallop *Patinopecten yessoensis* and Individual Variability in Scallops and *Mytilus edulis* Mussels: Statistical Considerations. *Toxins* 2018, 10, 395. (2018. 10)
- 5) 高坂祐樹・扇田いづみ・清藤真樹・田中淳也：漁業者ニーズに対応した漁場環境情報の一元化システム「海ナビ@あおもり」の開発と運用. *水産工学* Vol. 55 No. 3. (2019. 2)
- 6) 三浦太智, 吉田雅範, 山田嘉暢, 野呂恭成, 伊藤欣吾, 東 信行：マダラ陸奥湾産卵群の分布と回遊. *水産増殖* 67(1) (2019. 3)
- 7) 高坂祐樹・扇田いづみ：青森県の実ナビ@あおもり. *月刊海洋 持続可能な漁業産業を支援するための ICT の活用* 通巻 580 号. (2019. 3)